国土交通省
東北地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Tohoku Regional Development Bureau.
Press Release

令和７年９月２日
雄物川水系渇水情報連絡会
東北地方整備局 秋田河川国道事務所
東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
東北地方整備局 玉川ダム管理所

秋田河川国道事務所渇水対策支部（警戒体制）解除
玉川ダム管理所（注意体制）解除

湯沢河川国道事務所渇水対策支部は、（注意体制）へ移行

雄物川水系では、６月から７月にかけ少雨のため、雄物川水系の河川の流量や玉川水系ダム群（※）の貯水率が低下したことから、秋田河川国道事務所、湯沢河川国道事務所では７月１８日より、玉川ダム管理所では７月３０日より渇水対策支部を設置し、雄物川水系渇水対応タイムラインにもとづき、関係機関による節水啓発のほか、河川流況の監視強化、利水者との情報共有等を行ってきました。

８月に入りまとまった降雨があったことにより、雄物川の流況や玉川水系ダム群の貯水位が回復し、かんがい期に対する補給の見通しがたったことから、秋田河川国道事務所・玉川ダム管理所は、本日９時をもって渇水対策支部を解除したのでお知らせします。

なお、湯沢河川国道事務所は、岩崎橋地点（皆瀬川）などにおいて、最近５ヶ年渇水流量を下回ったまま早期の流量回復が見込まれないことから、本日９時に渇水対策支部を注意体制に移行し体制を継続します。

※玉川水系ダム群 ＝ 玉川ダム、鎧畑ダム、田沢湖、夏瀬ダム、神代ダム

〈 体 制 状 況 〉

７月１８日	渇水対策支部（注意体制）設置	秋田河川国道事務所 湯沢河川国道事務所
７月３０日	渇水対策支部（注意体制）設置	玉川ダム管理所
７月３１日	渇水対策支部（警戒体制）移行	秋田河川国道事務所 湯沢河川国道事務所
９月　２日	渇水対策支部（注意体制）移行	湯沢河川国道事務所
９月　２日	渇水対策支部　解除	秋田河川国道事務所 玉川ダム管理所

〈　9月　1日　9時現在の河川流量　〉

雄物川　椿川観測所　　１７２．０９ m3/s（正常流量８０m3/s）

＜発表記者会＞

秋田県政記者会、横手記者会、大仙市地方紙

＜問い合わせ先＞

雄物川水系渇水情報連絡会　事務局

【雄物川下流部に関すること】

（下流部会）　国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
電話：018－823－4167（代表）
副所長（河川）　木村（きむら）　博英（ひろひで）　（内線２０４）
河川管理課長　　阿部（あべ）　政昭（まさあき）　（内線３３１）

【雄物川上流部に関すること】

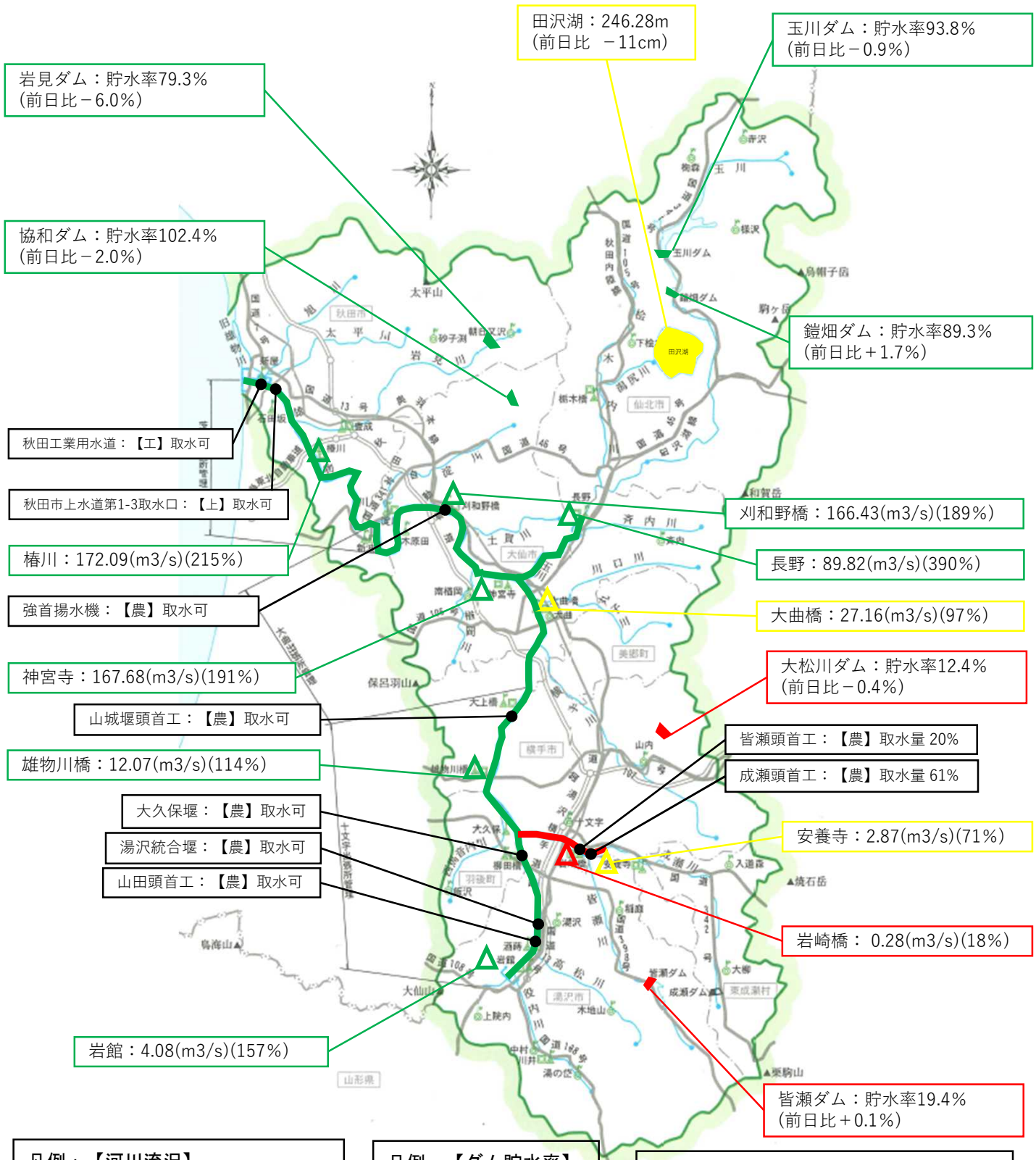
（上流部会）　国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
電話：0183－73－3174（代表）
副所長（河川）　岩沢（いわさわ）　博章（ひろあき）　（内線２０４）
河川管理課長　　榎（えのき）　清和（きよかず）　（内線３３１）

【玉川ダム（水系ダム群）に関すること】

国土交通省　東北地方整備局　玉川ダム管理所
電話：0187－49－2170（代表）
管理所長　　遠藤（えんどう）　俊彦（としひこ）　（内線２０１）

雄物川流域主な流況・ダムの貯水状況

令和7年9月1日　9:00　時点



凡例：【河川流況】

地点名：流量（m3/s）（以下の比率）
流量（現在）/正常流量もしくは過去5年平均渇水流量が
100%以上：緑
50-100%：黄
25-50%：橙
25%以下：赤

凡例：【ダム貯水率】

ダム名：貯水率（%）（前日比%）
ダムの貯水率が
70%以上：緑
50-70%：黄
30-50%：橙
30%以下：赤

凡例：【田沢湖水位】

名称：水位（m）（前日比m）
田沢湖水位が
247.4m(夏季制限水位)以上：緑
246m(平常時利用最低水位) -247.4m：黄
244.5m(遊覧船運航最低水位) -246m：橙
244m(異常渇水時利用最低水位) -244.5m：赤